

ジャーナリスト田原総一郎氏が クジラ既得権益団体による税金ムダ使いと クジラの初反論映画を製作した八木景子監督への イジメ問題に吠えた！

クジラを1社独占する母船の会社、共同船舶の所英樹社長は、10月21日から24日にフランスで開催された映像マーケットに映画やTV番組などの作品を持たずに多くの人数を引き連れて豪遊していたことがわかった。作品を豊富に持つWOWOWですら、一人が出張する程度。

映画祭主催者側から、「クジラの普及のために作られたクジラの新作映画を持つ八木景子さんが、資金がなくて来られず、資金はあるけれど、作品を持たずに、ゾロゾロきているクジラの船会社とは対照的」と、八木景子監督に連絡が入った。こうした事実に対して、11月16日(木)吉祥寺のアップリンクで開催された『鯨のレストラン』上映後のトークイベントで、田原総一郎氏は、「“既得権益”が日本の産業を滅ぼしている」と隣席の江島潔国会議員に「既得権益を壊すのは政治家だ」と、詰め寄った。

なお、八木景子監督は、当時の水産庁捕鯨班の責任者と、クジラ補助金漬け団体から排除され続け、集団圧力による「イジメ」にあっていることも告白。八木景子監督は、「クジラの産業を守ろうと関係者が手を焼いていた世界のテロリスト相手に発信し闘ってきたが、感謝されるどころでなく理不尽な対応に苦しめられてきた。巨額な借金まで活動してきたが、『借金八木さんの美德だ』、とも言われ、『あなたは、部外者』と言われ続けてきたことを告白した。劇場にいた来場者は、「そんなことになっているとは驚いた」、と口にした。

この件については、江島潔議員より「クジラ業界による嫉妬、出る杭は打たれている状態」と説明。田原総一郎氏は、「国会議員は9割が選挙しか考えていない」と語気を荒くした。

【登壇者プロフィール】

田原総一郎氏:(ジャーナリスト)

多くのTV番組に出演し、深夜の討論番組「朝まで生テレビ」1987年から現在まで、司会を務め、主に政治ネタで鋭いトークを展開。田中角栄をはじめ歴代の首相陣を取材してきた。

江島潔先生:(国会議員)

自由民主党副幹事長、捕鯨議連副幹事長。

経済産業副大臣兼内閣府副大臣、国土交通大臣政務官、山口県市長を歴任。

八木景子(映画監督)

誰もが手をつけず危険視されてきた捕鯨問題について、映画「Behind THE COVE」で初めて世界に反論、世界中のメディアで報道された。日本政府は映画を上映「八木景子をしっかりと守りサポートする」と公言。しかし現実には、八木は国内外に捕鯨への理解活動を個人の借金で8年間にもおよび行ってきたばかりか、クジラの補助金漬け団体からは「反論映画を頼んでいない」「部外者」と排除されてきたことを、このほど明らかにした。

【上記の取材について、問い合わせ先】◆合同会社 八木フィルム(花田・磯部) TEL:090-4120-4321

<http://www.yagifilm.com> MAIL: yagifilmJAPAN@gmail.com